

兵庫・衣川製鎖工業

「鉄の博物館」 19日オープン



【姫路】衣川製鎖工業（兵庫県姫路市、衣川良介社長、079・234・1515）は、本社工場の一角に「鉄のふしぎ博物館」写真」を19日オープンする。約50平方メートルの小スペースながら鉄の

さまざまな知識を楽しく学べる。入場無料だが、予約が必要。

衣川社長が40年かけて集めた「ギボン隕鉄」や英国の古い錬鉄など約200点を展示、全国の砂鉄や鉱石を手に入れる。

「石は磁石に引っ付くか？」「組成によって磁石に引っ付くステンレスの謎」などのテーマを体験できる。2007年から夏休みの間だけ「鉄のミニ博物館」として子供たちに公開してきたが、人気が高いため常設展示を開始する。

読売新聞 2009年7月29日 30面 地域版

鉄の意外な魅力 資料200点で紹介

鎖製造会社に博物館

鉄の面白さを紹介するスペース「鉄のふしぎ博物館」が、姫路市飾磨区の鎖製造会社でオープンした。アメリカ産の「天然磁石」や宇宙から飛来した「隕鉄」、色の異なる砂鉄など約200点を展示しており、同社では「鉄の意外な魅力を知って」とPRしている。

企画したのは、バイク用のチェーンロックを手がける同市飾磨区阿成渡場の「衣川製鎖」社長の衣川良介さん(63)。約50平方メートルの会議室で、南アフリカやボリビアなど約20か国の資料

を公開している。

目玉は、アメリカ・ユタ州の「天然磁石」。火成岩に含まれる磁鉄鉱の一種で、長さ数センチのクギを引きつける。南アフリカ・ナミビアで発見された隕鉄は、太陽系の小惑星から飛んできたという。神奈川県や鳥取県など国内20か所の川や浜辺で採れた砂鉄は、赤みがかったいたり、真っ黒だったり。ニッケルやコバルトなどは、手触りを楽しむことができる。

入場無料だが、事前の予約が必要。申し込みはファクス(079・234・1519)か、メール(tyoun@mement.or.jp)へ。問い合わせは同社(079・234・1515)へ。